

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024 年 06 月 24 日

静岡県知事殿

提出者

住 所 静岡県藤枝市築地392

氏 名 株式会社ツムラ 静岡工場

工場長 白鳥 圭哉

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 054 - 641 - 4011

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ツムラ 静岡工場		
事業場の所在地	静岡県	藤枝市	築地392
計画期間	2024/4/1 ~ 2025/3/31		

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	化学工業
② 事業の規模	製造出荷額 65,223,585千円
③ 従業員数	523名（正社員404名、それ以外の職員119名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙2の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	動・植物性残渣	9,230.881 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組) 製造工程の収率を向上させることにより、排出量の減少に努めた	
【目標】	【目標】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	動・植物性残渣	9,090.581 t
		0.000 t
		0.000 t

②計画		0.000 t
		(今後実施する予定の取組) 今後も製造工程の収率向上を継続し、排出量減少に取り組む
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類：廃棄物として処理するものと、有価物で売却できるものを分別し、廃棄する量を削減している	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類：今後とも上記内容を継続していく	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量
		0.000 t
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用は行っていない	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組)	

		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量
		0.000 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の種類	【前年度（令和 5 年度）実績】				
	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
①現状					
産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
動・植物性残渣	1,695.870	9,226.300	0.000	4.581	9,230.881
廃プラスチック類	212.529	212.529	0.000	1.511	214.040
廃油	0.030	0.030	0.000	0.000	0.030
廃酸	0.000	0.000	0.000	0.027	0.027
廃アルカリ	0.000	0.000	0.000	0.021	0.021
ガラスくず	0.172	0.172	0.000	0.000	0.172
水銀使用製品産業廃棄物	0.076	0.000	0.000	0.076	0.076
木くず	0.390	0.390	0.000	0.000	0.390
乾電池	0.033	0.000	0.000	0.033	0.033
汚泥（泥状のもの）	39.760	234.132	0.000	142.705	376.837
（これまでに実施した取組） 可能な範囲で優良認定処理業者を選択し、全ての廃棄物の処理を再生処理する業者に委託した。また、優良認定処理業者の新規開拓を行った。					

産業廃棄物の種類	【目標】				
	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
動・植物性残渣	2,002.000	9,086.000	0.000	4.581	9,090.581
廃プラスチック類	212.529	212.529	0.000	1.511	214.040
廃油	0.030	0.030	0.000	0.000	0.030
廃酸	0.000	0.000	0.000	0.027	0.027
廃アルカリ	0.000	0.000	0.000	0.021	0.021
ガラスくず	0.172	0.172	0.000	0.000	0.172
水銀使用製品産業廃棄物	0.076	0.000	0.000	0.076	0.076
木くず	0.390	0.390	0.000	0.000	0.390
乾電池	0.033	0.000	0.000	0.033	0.033
汚泥（泥状のもの）	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
(今後実施する予定の取組) 現状の産業廃棄物処理業者を継続しつつ、優良認定処理業者の開拓をさらに進める。 SDGsへの取り組みとして、肥料化100%を継続する。 アルミ再資源化を行い、有価転換をする。					
※事務処理欄					

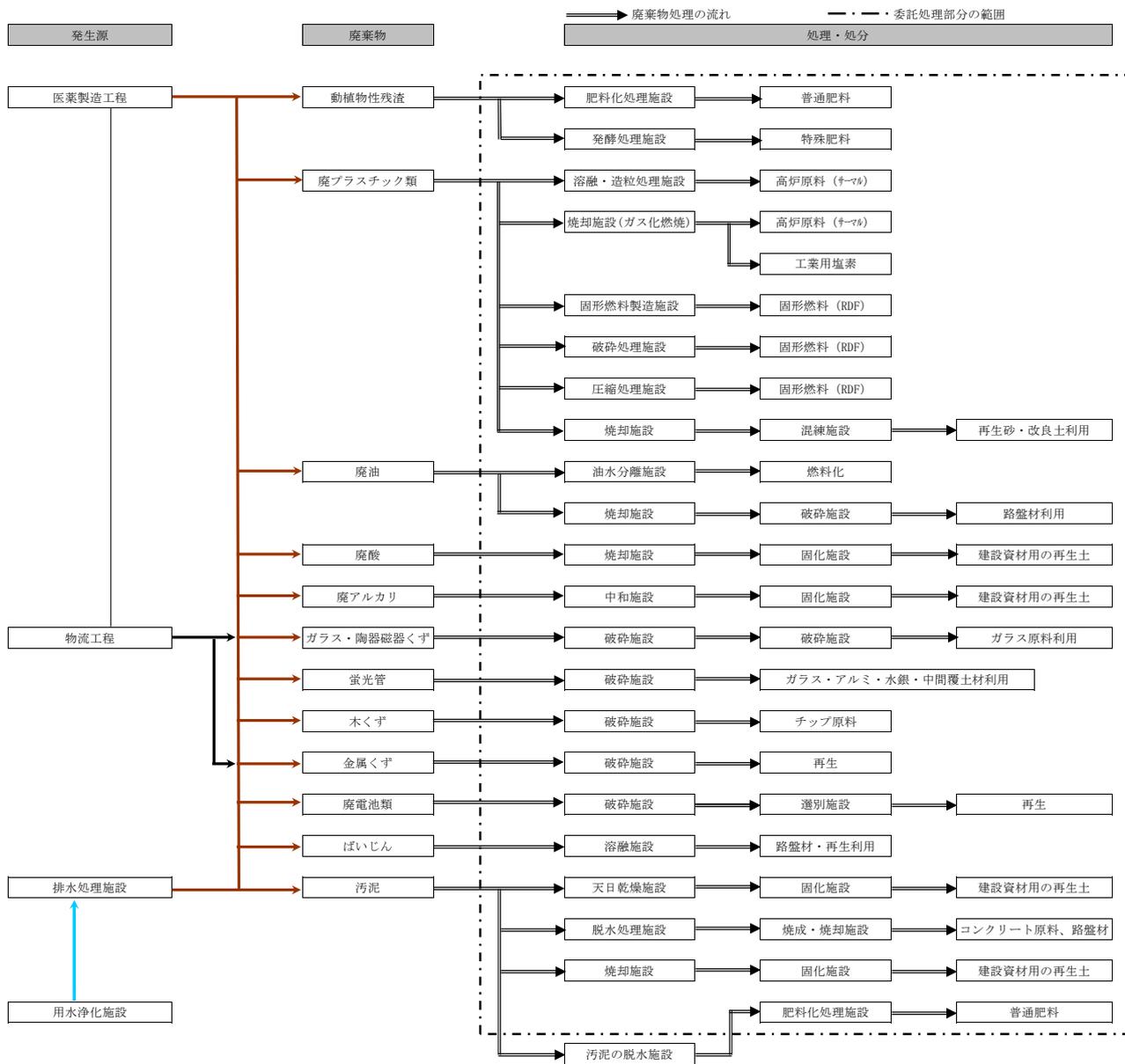
②計画

(第6面)

備考

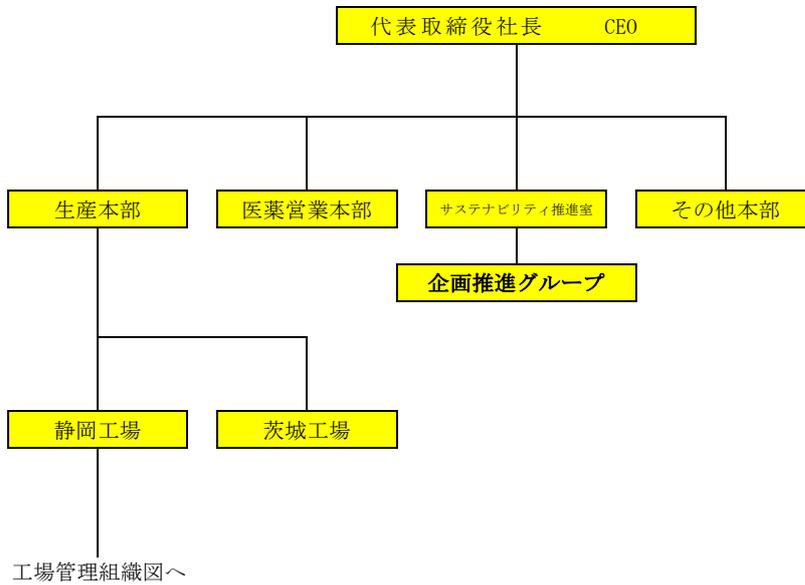
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

④産業廃棄物の一連の処理の工程



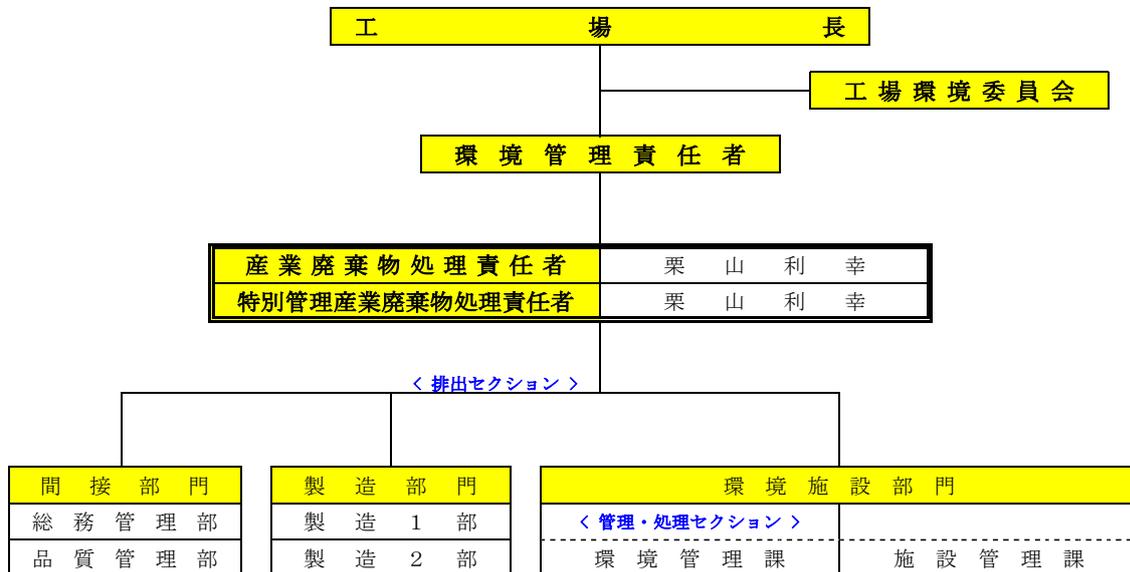
本社管理組織図

株式会社ツムラ 環境管理組織



工場管理組織図

株式会社ツムラ静岡工場 環境管理組織



 法的に義務づけられた責任者・管理者